

A I 音声による道路規制情報案内事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	三田村 佳紀	
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託								□ 補助金			
補助率									□ その他			
福井県長期ビジョン における位置付け	分野	[4 安心を高める(地域力)]				関連する県の計画等		[福井県DX推進プログラム]				
	政策	[16 防災・治安先進県ふくいの実現]										
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
通行規制情報の電話対応時間縮減と閉庁時間帯の対応						冬期間の道路保全課への平均入電数10件/月 R3年1月(大雪時)における道路保全課への入電数1,745件/月 R3年1月(大雪時)におけるVoiceBotへの入電数4,343件/月(ピーク時:1,137件/日)						
[事業目的]												
県管理道路の通行規制を行う場合、県HP「みち情報ネットふくい」で情報発信しているが、電話問合せが一定数あり、開庁時間のみの対応となっている。さらに災害時には電話問合せが急増することから、VoiceBot導入により、職員の電話対応時間縮減と24時間365日の自動応答を図る。												
[事業内容]												
令和2年度から本事業の実証実験を実施しており、令和3年1月大雪時には1日最大約1,100件の入電がVoiceBotにあり、一定の成果があった。一方で、アンケートから道路管理者の異なる直轄国道、高速道路の通行規制情報や、通行規制理由、通行規制解除日時等の要望があり、これらに対応するため、以下の拡充を行いサービス向上を目指す。												
①直轄国道(国道8号、27号、161号、中部縦貫自動車道)、高速道路(北陸自動車道、舞鶴若狭自動車道)の通行規制情報の案内追加												
②通行規制情報の入力を行う「道路管理情報システム」とAPI連携し、通行規制解除予定日時、通行規制理由、迂回路情報等の提供情報の拡充												
[受益者] 県内外のドライバー						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (実績) 事業名					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 (役割分担) 事業名					
市町との連携状況						他県の状況						

A I 音声による道路規制情報案内事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	三田村 佳紀		
事業主体	県					事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他	事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託												
補助率													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源	国庫、その他財源の名称等							
予算額	5,785				5,785								
[予算額の推移等] (単位：千円)													
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移					5,785								
2月現計予算額の推移													
決算額の推移													
前年度までの 主な増減理由													
[成果指標等の推移]													
区 分	平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	(目標) 実績							県民サービス向上や職員の負担軽減を目的としており、数値目標は困難。					
活動指標	道路保全課への入電数	(目標) 実績	(10)		(5)	(0)	(0)	通行規制情報の職員への電話問合せ数 0件(平時の1日あたり)					
[事業の評価]													
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価					
【実証実験の実績】 ・VoiceBotによる電話応答率100% ・対前年度比入電数210% ・24時間365日対応(導入前：平日8:30~17:15) (参考)アンケート結果 ・管理者の異なる直轄国道、高速道路も知りたい ・なぜ通行規制されているか、迂回路はどの道路かも知りたい				・直轄国道、高速道路の通行規制情報の案内追加 ・通行規制解除予定日時、通行規制理由、迂回路情報等の提供情報の拡充				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額		
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了			
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他			

みち情報ネットふくいスマホ対応事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	三田村 佳紀			
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	■ 実行予算 □ 補助金 □ その他		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度
事業実施方法	委託													
補助率														
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [16 防災・治安先進県ふくいの実現]				関連する県の計画等		[福井県DX推進プログラム]							
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]								
県HP「みち情報ネットふくい」のスマートフォン等からのアクセスへの未対応						R3年1月におけるアクセス割合 (PC:約5割、スマホ、タブレット:約5割)								
[事業目的]														
県HP「みち情報ネットふくい」は、道路の通行規制情報や道路状況確認カメラ等の情報をリアルタイム配信しているが、スマートフォン等からのアクセスに対しては最適化された画面構成となっていないため、スマートフォンに最適化した画面構成に改修しユーザビリティの向上を図る。														
[事業内容]														
県HP「みち情報ネットふくい」のアクセス分析を行い、スマートフォンやタブレットからのアクセスを想定し、メニューボタンや各詳細画面へのアクセスボタンの位置などの画面構成を改修する。														
[受益者] 「みち情報ネットふくい」閲覧者						[想定される受益者数] 約2,000,000人・回(年間平均アクセス数から想定)								
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)				関連事業の有無・ 役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)								
市町との連携状況					他県の状況									

みち情報ネットふくいスマホ対応事業

区分	新規	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	三田村 佳紀					
事業主体	県				事務 区分	■ 自治事務		事業 区分	■ 実行予算		事業 開始 年度	R4 年度 経過年数 1 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R8 年度		
事業実施方法	委託					□ 法定受託事務			□ 補助金						□ その他	
補助率																
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等									
予算額	2,200				2,200											
[予算額の推移等]												(単位：千円)				
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由									
当初予算額の推移						2,200										
2月現計予算額の推移																
決算額の推移																
前年度までの 主な増減理由																
[成果指標等の推移]																
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠							
成果指標	(目標) 実績								スマートフォンでのHP閲覧性を向上するための事業であり、数値目標は困難							
活動指標	年間のみち情報ネットふ くいへのアクセス数増 (目標) 実績	3,126,000	2,467,000	1,763,786	(2,000,000)	(2,000,000)	(2,200,000)	(2,400,000)	H29~R2の年間平均アクセス数 約2,000,000アクセス 中間目標：1割増、最終目標：2割増							
[事業の評価]																
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価								
								<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額					
								<input type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了						
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他						

除雪オペレータ育成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	三田村 佳紀		
事業主体	県、(一社)福井県建設業協会					事務 区 分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業 区 分	<input type="checkbox"/> 実行予算	事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R4 年度
事業実施方法	補助								<input checked="" type="checkbox"/> 補助金				
補助率	1/2、定額								<input type="checkbox"/> その他				
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [16 防災・治安先進県ふくいの実現]					関連する県の計画等		[道路雪対策基本計画]					
[解決すべき問題・課題] 集中的な大雪時に、早期の道路交通確保をするためには、昼夜問わず継続して除雪作業できる体制が必要である。効率的かつ安全に行うためには、3交代で対応できるオペレータを確保し、若手人材等の育成を図ることが求められる。						[問題・課題を表す客観的データ] ・県の除雪機械は526台を配備 (R3.10月時点) ・昼夜問わず継続して除雪作業を実施するには、1,600人のオペレータが必要 526台×3交代≒1,600人 (現在のオペレータ数:1,400人、不足数:200人)							
[事業目的] 除雪オペレータの高齢化や人員不足に対応するため、除雪機械の運転に必要な免許取得および技能講習に係る費用の補助を行い、除雪機械の運転手となる若手人材等を育成し、持続可能な除雪体制や冬期間の安全安心な道路交通の確保を図る。													
[事業内容] (1) 県の除雪機械の運転に必要な免許取得および技能講習に係る費用の補助 補助上限額: 250千円 補助率: 1/2 (70名) (2) 補助金交付申請の受付および交付決定通知の処理業務等の補助 補助先: (一社)福井県建設業協会 補助額: 定額													
[受益者] 県が管理する道路を除雪する企業の従業員						[想定される受益者数] 200人							
前事業の有無・実績	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有 事業名 (役割分担)						
市町との連携状況						他県の状況	・山形県 除雪オペレータ担い手確保支援事業 ・福島県 除雪オペレータ育成支援事業 ・富山県 除雪オペレータ育成支援事業 ・鳥取県 除雪機械運転手育成支援事業 ・島根県 除雪機械運転資格取得支援補助金						

除雪オペレータ育成支援事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	三田村 佳紀						
事業主体		県、(一社) 福井県建設業協会				事務区分	■ 自治事務		事業区分	□ 実行予算		事業開始年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R4 年度		
事業実施方法		補助					□ 法定受託事務			■ 補助金						□ その他	
補助率		1/2、定額															
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等										
予算額	9,300				9,300												
[予算額の推移等]												(単位：千円)					
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由										
当初予算額の推移						9,300											
2月現計予算額の推移																	
決算額の推移																	
前年度までの 主な増減理由		<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度はオペレータ130名の増強(6月補正) ・令和4年度はオペレータ70名の増強 															
[成果指標等の推移]																	
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠								
成果指標	除雪オペレータ数	(目標)			(1,530)	(1,600)			除雪オペレータ1,600人の確保(200名の増強) ※除雪機械526台×3交代≒1,600人								
		実績			1,530												
活動指標		(目標)															
		実績															
[事業の評価]																	
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価									
				補助対象年齢の引き上げ(49歳以下→54歳以下)				□ 拡充	□ 縮減	□ 終期の見直し	見直し額						
								■ 継続	□ 休止	□ 完了							
								□ 整理統合	□ 廃止	□ その他							

除雪状況「見える化」促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	三田村 佳紀	
事業主体	市町				事務区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務	事業区分	□ 実行予算 ■ 補助金 □ その他	事業開始年度	R3 年度	事業終了 予定年度 (見直し年度)	R5 年度
事業実施方法	補助			経過年数					2 年			
補助率	1/2											
福井県長期ビジョン における位置付け	分野 [4 安心を高める(地域力)] 政策 [16 防災・治安先進県ふくいの実現]				関連する県の計画等		[福井県DX推進プログラム]					
[解決すべき問題・課題]						[問題・課題を表す客観的データ]						
除雪体制において、管理者の異なる道路が交差する場所などは、除雪のタイミングを合わせるなど各管理者の連携が必要。												
[事業目的]												
市町における除雪車位置情報システム導入の補助を行いデータ連携することで、県、市町お互いの除雪車両の位置を確認し、より速やかな連携除雪を図る。												
[事業内容]												
(1) システム構築に係る費用およびGPS端末購入に係る費用の補助 ○補助上限額 システム構築費 : 1, 100千円(1市町あたり) GPS端末購入費 : 22千円(1台あたり) ○補助率 1/2												
[受益者]						[想定される受益者数]						
前事業の有無・実績	■ 無 □ 有 事業名 (実績)					関連事業の有無・役割分担	■ 無 □ 有 事業名 (役割分担)					
市町との連携状況						他県の状況						

除雪状況「見える化」促進事業

区分	継続	経費区分	政策的経費	要求基準	外	部局名	土木部	課名	道路保全課	課長名	三田村 佳紀			
事業主体	市町				事務 区分	■ 自治事務 □ 法定受託事務		事業 区分	<input type="checkbox"/> 実行予算 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他		事業 開始 年度	R3 年度 経過年数 2 年	事業終了 予定年度 (見直し年 度)	R5 年度
事業実施方法	補助													
補助率	1/2													
区分	事業費	国庫	起債	その他	一般財源		国庫、その他財源の名称等							
予算額	12,287		12,000		287		緊急防災・減災事業債							
[予算額の推移等]												(単位：千円)		
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	令和4年度予算額の増減理由							
当初予算額の推移						12,287								
2月現計予算額の推移														
決算額の推移														
前年度までの 主な増減理由	R3年度の実施市町：福井市、坂井市、あわら市、鯖江市、大野市、勝山市（6月補正） R4年度の実施市町：福井市、永平寺町、越前市、越前町、池田町、南越前町、敦賀市													
[成果指標等の推移]														
区 分		平成30年度	令和元年度	2年度	3年度	4年度	中間目標	最終目標	目標・指標の考え方・積算根拠					
成果指標	除雪車位置情報システム 導入市町数				(6) 6	(12)	(17)		県内全市町への導入					
活動指標														
[事業の評価]														
前年度の実績・成果指標等の定量的評価				実績を踏まえた令和4年度の変更点				事業評価						
				3か年計画の事業であるため、引続き市町に対して支援を行い、除雪状況の見える化を実施する。				<input type="checkbox"/> 拡充	<input type="checkbox"/> 縮減	<input type="checkbox"/> 終期の見直し	見直し額			
								<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 休止	<input type="checkbox"/> 完了				
								<input type="checkbox"/> 整理統合	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> その他				